

2021年10月4日

パナソニック サイクルテック株式会社

電動アシスト自転車の生産能力を3割増強

パナソニック サイクルテック柏原工場をリニューアル 環境負荷低減型のモノづくりを実現



パナソニック サイクルテック本社 外観

パナソニック サイクルテック株式会社は、このほど、国内市場における電動アシスト自転車の需要増に対応することを目的に、柏原工場（大阪府柏原市）の生産体制強化に伴う設備投資を実施、また環境負荷低減型の設備の稼働を開始しました。

近年、電動アシスト自転車市場における出荷台数は、2018年度68万8千台、2019年度71万1千台、2020年度82万1千台と年率約9%で伸長し、2021年度以降も引き続き、成長が見込まれています（※1）。当社の出荷台数は、業界水準以上で伸長し、牽引しているのは、ショッピングモデル、通勤・通学モデル、小径・ファッションモデルなどです。

このたび、需要増に対応するため、新ドライブユニット「カルパワードライブユニット」の生産設備の立上げ、ロボットを駆使した自動溶接設備の導入、節水型被膜処理設備の導入、環境負荷物質を低減した粉体塗装設備の導入などにより柏原工場の生産能力を拡大、3割増の出荷に対応可能な体制に強化しました。節水型被膜処理設備では、従来工法比で使用水量を大幅削減、粉体塗装設備ではVOC（揮発性有機化合物）排出ゼロ化を実現しました。

◆柏原工場リニューアルの概要

<国内生産体制の強化&環境配慮型モノづくり>

1. カルパワードライブユニット生産設備：高性能センシング機能を活用し、徹底した工程管理による品質確保と組立の自動化による高効率生産（生産能力従来比：最大180%）を実現。
2. 自動溶接設備：ロボットによる溶接の自動化により安定した品質と生産能力の向上（生産能力従来比：130%）、省人化を実現。
3. 節水型被膜処理設備：エコ排水システム（※2）を採用し、従来工法比で使用水量を32%削減しました。また、ディップ方式の採用により長期信頼性品質を確保し、環境負荷低減と品質向上の両立を実現しました。
4. 粉体塗装設備：再利用可能な粉体塗料の採用によりVOC（揮発性有機化合物）排出ゼロ化を実現。また、1コート塗装での外観品位の実現など高い技術力による工程合理化を実現。

※1:電動アシスト自転車総需要:当社推定

※2:エコ排水システムとは、車体についた薬品を工程内で発生する再利用可能な水を使いスプレー圧洗浄(置換水洗)することで洗浄水を大幅に節約する仕組みとなります。

【お問い合わせ先】

お客様ご相談窓口(通話無料)

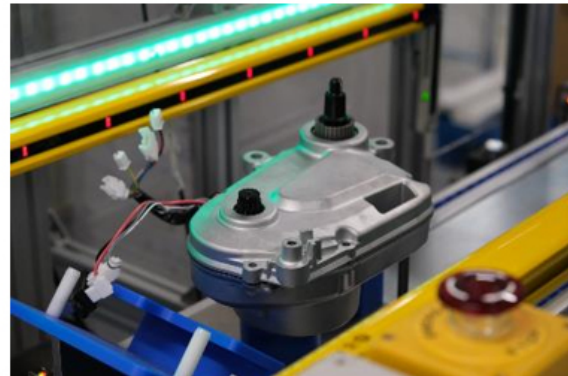
電話:0120-781-603(受付9:00~18:00)

【パナソニック サイクルテック株式会社 柏原工場の概要】

1. 所在地:大阪府柏原市片山町13番13号
2. 竣工:1964年(昭和39年)12月5日
3. 生産品目:一般自転車、電動アシスト自転車、電動アシスト三輪車、電動ユニット、補修パーツ
4. 新設備:カルパワードライブユニット生産設備、自動溶接設備、節水型被膜処理設備、粉体塗装設備
5. 生産対応能力:2020年度下期より年間出荷台数38万台
6. 土地面積:21,200 m²
7. 建物延床面積:10,460 m²



カルパワードライブユニット自動検査設備



カルパワードライブユニット組立工程



自動溶接ロボット



自動溶接設備



節水型被膜処理設備 ディップ方式



節水型被膜処理設備 スプレー圧洗浄（置換水洗）



粉体塗装設備 補正ロボット



粉体塗装設備 レシプロ塗装機

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。